

熊 地 区 防災のお知らせ



熊地区自主防災会
事務局

『地域の為の防災 10の心得(パートⅡ)』

暦の上では春を迎えました。コロナ禍が過ぎ、おだやかな春の訪れを望まれるこのごろです。

※熊地区自主防災会の現状をお知らせします。

① 亀城小学校 避難所開設運営会議

刈谷市中部、西部、熊地区の三地区の防災会役員、亀城小の校長・教頭、市議会議員 NPO法人愛知ネットが月一回集まり『避難所マニュアル』の作成に向け活動しています。

② 東中学校避難所運営協議会

発災時、避難所は避難してきた人たちで開設、運営をします。開設に必要なマニュアルづくり 関連資器材の整備・収納、携帯(非常用)トイレの設置にむけ話し合いを進めています。

防災の為の10の心得 (パートⅡ)

- ① 震度6以上の揺れだと逃げることはまず不可能。その場で身の安全を図る。
- ② 震災での怪我の大半は室内で起きている。身を守る事が最優先。
- ③ 揺れたら終わりじゃない！最も恐ろしい二次災害。地震火災のリスク。
- ④ 助けを呼ぶ前に考えて。『助けてくれ』とさえ言えない重傷者のこと。
- ⑤ 念のために、と習得した正しい知識と技術が誰かを救うかもしれない。
- ⑥ 電気、水道、ガス。全てが同時に停止するその不便さを想像して。
- ⑦ 災害関連死の8割の原因は脱水症状が引き金に。命の水を摂取する大切さ。
- ⑧ 災害時はデマがながれる。発信元をしっかりと確認して情報におどらされない。
- ⑨ ペットは家族同然！それならペットの防災も当然必要です。
- ⑩ 悲しいことに被災直後のシニア、弱者を狙った犯罪も！

(シニアの為の防災手帳より抜粋)

今までに習得した防災知識が
災害時に役立ちます！

